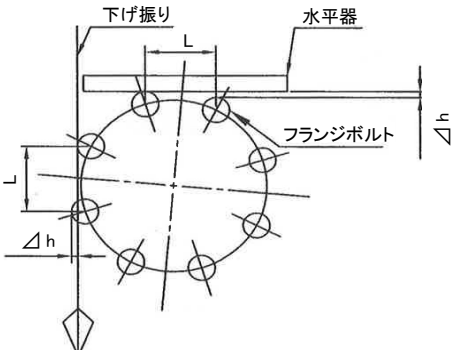
仕切弁の施工チェックシート(フランジ形式の場合)

工事名称:

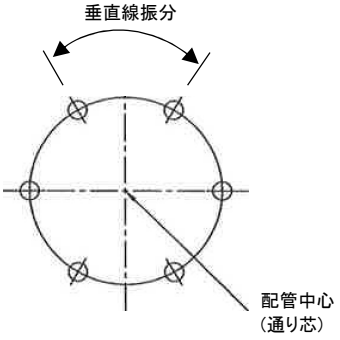
年　月　日

主任技術者

1

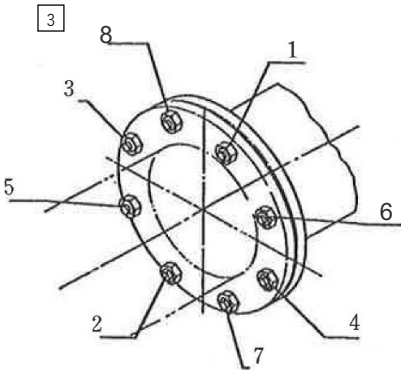


2

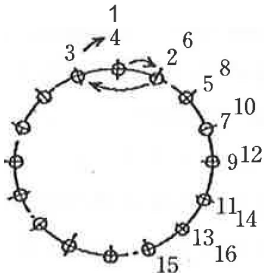


管(弁)番号(NO)					−
管の種類／呼び径		／	／	／	−
弁の種類／呼び径		／	／	／	−
設置面の整正					−
芯出しの確認 ※1					1
フランジ面の平行度・倒れの精度(⊿h) ※2					2
ボルト穴の位置・数の確認					2
清掃・異物の除去					−
弁の開閉状態 ※3					−
絶縁ボルト・ナットの使用の有無					−
フランジガスケットの確認					−
ボルト ※4	トルクの確認	①			3 4
		②			
		③			
		④			
		⑤			
		⑥			
		⑦			
		⑧			
継手施工者					−
継手確認者 ※5					−
判　定					−

3



4　増し締め順序



締め付けトルク

ボルトの呼び	締め付けトルク (N·m)
M16	60
M20	90
M22	120
M24	180
M30	330
M36	500

判定基準　※1 弁と配管の中心線(通り芯)が同一直線上になっているかを確認する。
※2 フランジの倒れ目標値：⊿h/L≦1/1000として，倒れ目標値が1/1000を超えると弁の取付が困難となるので注意する。
※3 弁の据付時点では，原則として閉状態とする。
※4 表の締め付けトルクによる。ただし，メカニカル継手形状の弁の場合は，その継手形式によるチェックシートを用いること。
※5 継手の確認は，選任した配置配管技能者が行うこと。